

教室に入れない課題を解決する

三年間通級学級を担当してた経験の中でです。通級に在籍や体験する子供たちは、かなりの割合で不登校傾向だったり、教室に入れない子どもたちだったりしました。毎回活動記録と成果、そして子どもたちの各評価を分析してきました。

その集計や考察をしていくと、教室に入りたがらない、または嫌悪感を持つ原因がいくつか浮かんできます。それは

- ・友達と上手に関係が作れない
- ・勉強がよく理解できない
- ・一日の活動や授業の見通しがたらない

以上のことが多かったでした。その原因が教室に入れないことにつながるプロセスは別に提示します。

ここでは、その課題の解決が困難なこと、そして解決できるとすれば何が必要か、について提示していきます。

通級で集めたデータの結果、目に見える原因の一つは、人間関係です。友達とうまくいかない、集団活動が苦しい、グループ学習がうまくできない、等の人間関係が原因の一つになっています。人間関係改善の難しさを提示してみます。個別学習でソーシャルスキルトレーニングなど、スキルの改善や相談などやってきました。これはそれら支援や学習が効果を上げているかのグラフです。結論から言います。私の力量もあったのですが、対処療法やスキルトレーニングでは改善ができていなかったという結果でした。しかし予防処方では、いろいろできるものがあります。これは別項目で上げます。

次に学習の習熟度が低い、いわゆる勉強がわからないから教室に入れないという原因です。

通級はLDも対象でした。必要に応じて個別で教科学習をした部分もありました。

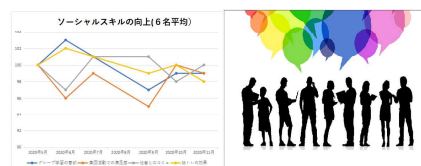
個別学習で一緒にやれば、伸びる部分が出ます。例えば数学ですが、丁寧に個別学習を行えば理解は向

教室に入るのが苦しい時 ストレスの原因

- ・友達と上手に関係が作れない
- ・勉強がよく理解できない
- ・一日の活動や授業の見通しがたらない

解決の難しさ

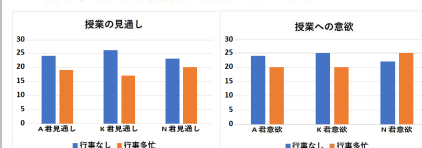
ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル向上の難しさ



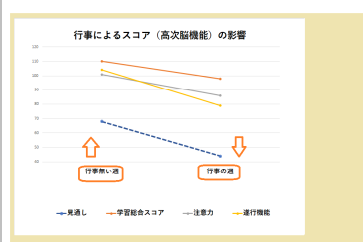
個別学習などで向上できた事例が少ない



行事多忙時は授業の見通しがつかない



多忙時の授業意欲は個人差がある？



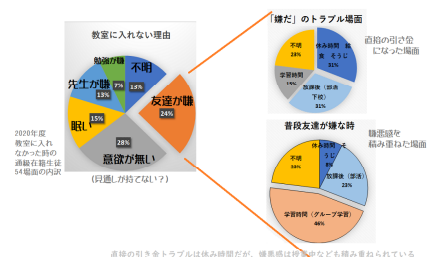
上します。このグラフの下部分は二人の子供が半年間で能力が伸びてきたグラフです。

しかし一度大きく遅れた子供が標準以上の速さで向上し、標準内容まで達するのは困難でした。上のグラフの線は偏差値の値です。絶対的な力は向上しましたが、学年集団は、更に力を向上させていき、全体との相対値、つまり偏差値などは少し下がっていたのです。これはマラソンのようです。自分は進んでも、周りも進むため、相対的には追いつけず、授業で標準的な水準までたどり着けないのです。ではどうすればいいのか、これも別項目で提示したいと思います。

もう一つ原因と解決策を提案します。

この原因は「学習や一日の活動に見通しが持てない」という原因です。アンケートや記録などではなかなか現れない原因でした。しかし記録を分析すればするほど、この原因が他の二つの遠因になっていて、三つの原因を解決できるカギになることがわかってきました。子供たちの記録を読み解くと、授業以外の活動があるときは、見通しがつかなくなり意欲が落ち込むことが分かっていました。これもいろんな角度から複数分析しましたので、機会があれば提示いたします。このグラフは当時中学2年の男子3人に取った記録です。二つ以上の授業外活動がある時、行事等の活動が無い時では、教科学習の見通しに違いが出たか、の記録です。この記録をとった時期はちょうど運動会練習の時でした。

3人とも行事が混んでいた日は、教科の学習に集中できず、授業での学習活動で見通しがつかなくなった様子が見えます。意欲についてはどうでしょうか。これは個人差がありました。二人は意欲も落ちて授業ができなかった、という傾向にありました。しかし、もう一人は運動会を楽しみにしていたようで、見通しがつかなくなったのに、よくできた、と授業の評価が若干向上したようでした。このように行事の好き嫌いで個人差が出ましたが、授業外活動が混んでくると、一つ一つの授業でも見通しが持てなくなり、意欲や充実感が落ちる子供も出てくる危険



授業中心に活動をしばり

子どもが授業に集中できる環境

予防として効果
不適応等が起きてからの
対処法として効果が限られる

性はあると思います。

そして学校全体の活動が忙しくなると、個別での支援や配慮は難しくなります。学校全体で行事で見通しがつかなくなり、意欲が落ちる生徒が出ないようにすべきです。そしてこの解決策は、対処法でなく、予防処方として効果的だと思えます。

結論として、授業以外の活動を大幅に削減して、子供が見通しをもって学習活動に取り組める環境を作ること。これが解決策になります。子供に不適應の傾向が出てからの個別対処では効果が限定的です。またこの解決策は別に述べますが、子供のグループ学習や集団活動にも予防的効果が期待できます。是非、お考え下さい。

END